

《防災・減災について考える》

元日早々能登半島地震が襲ってきました。震源は石川県能登地方で深さは16キロ、地震の規模を示すマグニチュードは7.6でした。阪神・淡路大震災を起こした地震や熊本地震のマグニチュードは7.3だったので、それよりも大きな規模です。最大震度7を記録し、亡くなられた方は240名(2月2日現在)にも上りました。心より哀悼の意を表します。また、被害にあわれた多くの方々にはお見舞い申し上げます。

29年前の1月17日には阪神・淡路大震災が発生し、それから29年が経ちました。当時私たちは多かれ少なかれ被害にあいました。それを教訓にいろいろな対策が取り組まれてきましたが、今、どこまで生かされているのでしょうか。次の大地震が襲ってきたとき、私たちは一体何ができるのでしょうか。「今」防災・減災について幾度となく考える必要があるのではないのでしょうか。

そこで、一つの資料として以下に提示したいと思います。

高砂市民生委員児童委員協議会研修会から



昨年の9月に、高砂市民生委員児童委員協議会の研修会において、「防災リーダーたかさご」会長の井端正晴様を講師に招き、「みんなで考えるこれからの防災・減災・縮災－地震編－」と題して講演をしていただきました。その中で「南海トラフ地震」のことについても詳しくお話が聞けました。地震が起きた時の対応はもちろんですが、起きる前からの予防が大切であるとも話されました。「自分の命は自分で守る」「町の安全はみんなで守る」など、一人ひとりが共助の精神を持ち、災害に対する正しい知識を身につけ、日頃から災害に備えておくことが大切であるとも言われました。紙面の関係で書ききれませんので、各町の取り組みの中でお話をしていって頂けたらと思います。

(株)タクマ播磨工場との面談から



先般、株式会社タクマ播磨工場を訪ねました。その目的は、地震が発生した場合の地域住民に対する対応をお伺いするためでした。その最初のお答えが、弊社では対応策はすでに案はできているとのことでした。ただ、まずは高砂市との提携が先決であるとのことでした。しかし、現時点で地震が起これば、案に沿ってきちんと対応しますとのことでした。尼崎市にある本社では、すでに市との提携ができているとのことでした。

私たちは、「今」何ができるのでしょうか。「今」何をしておかなければならないのでしょうか。一人ひとりが大切にされる社会づくりの中で、お互いを思いやり、「命を守る」「暮らしを守る」、そして、必要以上に怖がるのではなく、普段の生活の中での備えをしっかりとしておくことが「今」必要だと思います。

荒井町各町のこれまでの取り組みより(令和4年度実施分、小福祉部会の報告より)

- ・ひとり暮らしの高齢者宅へのゆうあい訪問・見守り活動
- ・ふたり暮らしの高齢者宅への見守り訪問
- ・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、健康体操
- ・バス旅行
- ・防災を知る学習会、みんなで学ぶ災害への備え、防災講演、介護講演、防犯講演
- ・おしゃべり会、茶話会、ゲーム大会、おしゃべりサロン
- ・食事会(コロナのため弁当配付の場合あり) など



※ 令和5年度においても、各町様々な取り組みがなされています。詳細については、各町にお尋ねください。

第10回荒井町世代間交流コンサートが開催されました!

主催：荒井町敬老事業推進協議会

令和6年1月26日金曜日9時30分から荒井幼稚園遊戯室において、世代間交流コンサートが開催されました。昨年度、一昨年度は荒井公民館においての敬老事業の実施でしたが、コロナの5類感染症移行に伴い令和元年度以来4年ぶりに幼稚園での開催となりました。久々に世代間交流コンサートとして敬老事業を開催することができました。従って幼稚園児の演奏も再開できました。

第1部は、第1回から継続して出演していただいている谷五郎さんによる軽妙なおしゃべりと音楽家の皆さんの演奏がありました。今年のメンバーは、加藤あや子さん(ピアノ)、北野麻里子さん(フルート)、高原いつかさん(メゾソプラノ)、東山梓さん(クラリネット)の4名による演奏を聴くことができました。



第2部は、荒井幼稚園の園児による3曲の演奏があり、引き続き音楽家とのコラボで「わがまち高砂」「高砂物語」の2曲が披露されました。みんな元気に素晴らしい声を聞かせてもらいました。個人情報の関係でその姿をお見せできないのが残念ですが、そして最後は、再び4名の音楽家による演奏が行われ幕を閉じました。

幼稚園児、その保護者、そして、地域の高齢者たちが一堂に会し、遊戯室内はお話と演奏に包まれ、楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。



荒井町敬老事業推進協議会は、現在、荒井町連合自治会、荒井地区民生委員児童委員会、荒井町福祉推進委員会、荒井地区老人クラブ連合会、荒井地区青少年健全育成協議会の団体で組織しています。

荒井地区支え合いづくり協議会について、ご意見等ありましたら、右記の所にご連絡ください。よろしくお願いたします。

発行責任者 荒井地区支え合いづくり協議会 会長 福本 隆文
 事務局 社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会地域福祉課
 第2層生活支援コーディネーター(堅副)
 TEL 079-443-3725 FAX 079-443-0505